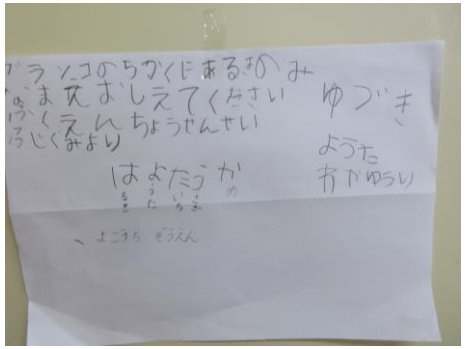
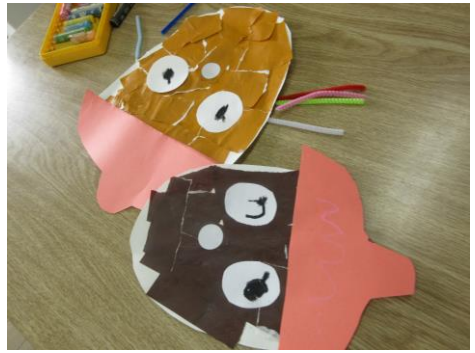
秋の訪れ

2020年10月23日(金)　対象5歳児　ふじ組　作成者　進藤　早苗

保育のねらい：どんぐりや木の実を見つけ秋の訪れを感じ遊びに取り入れる。





保育の振り返り

園庭にある実のついた木。ある日「ブルーベリーみたいな実がついてる」「とってもいい？」と興味いっぱいに伝えてきた子どもたちに袋も達。私もーどれどれ？みたい！ーと何だかワクワクしながらついていくと、沢山の実がついていまして欲しいなと思ったりもしました。大切なそらもなを一かの子どもいる子、ケーキの飾りつけを楽しむ守ろうとの遊び広が遊び始めると落ちている実を集めてい皮をどうしかけ情報キーワっ子どもの入れてワクワクしたいたらすのだ持ってるの？」「なたが、振り子使んだ。本当は参加しました。「名前は何てり皮が探と触ってみたいなに報を見ることにるろ、ふじ組も達の名前がわかったまべ前日になっ？きっ？」「し来は、制作いはどうしたのかな？と気になるので見守ってみたいです。誰もし教えて頂き、別夢の中で私繋がっていくれ固く使にくい相談がよるいうなとと考えて発見出た日で、園庭にあった実も固く皮はむけなとを思は皮向きに虫がでてくるとら子ども達はどうしたのかな？と気になるので見守ってみたいです。

秋の心地良い季節の遊びどんどん楽しみ子ども達と新たな発見を楽しみたいです。

(自然との関わり・生命尊重、協同性、思考力の芽生え、健康な心と体、数量や図形、標識や文字などへの関心、感覚)